

令和 4 年度 墨田区立菊川小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 6 日

学 校 目 標	人権尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、人間性豊かな子供を育成します。これからの社会の中核を担えるよう、自ら問題を発見し解決策を立て、それを実行していく行動力と、考えや価値観が異なる相手とも積極的にコミュニケーションを図り、互いの一致点を見出していく対話力を身に付けさせます。困難を自らの意志と能力で乗り越えていけるよう、たくましく生き抜く力を一人一人に育む学校づくりを進めます。 ◎よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子
目 指 す 学 校 像	○安全で安心できる学校 健康で安全な生活が送れるよう、子供たちを守る安全管理と安全指導 人権尊重の精神を基盤として、自分も相手も同じように大切にしている心の教育 社会性の基礎となる礼儀やあいさつ、授業規律や規範意識を確立する生活指導 ○生きる力が身に付く学校 知・徳・体の調和のとれた成長をうながす教育活動 主体的・対話的に学び、自分の思いや考えを表現できる学習活動 進んで人と関わり合い、支え合い、協力し合う集団活動 ○地域から信頼される学校 子供をあたたかく見守り、よりよい成長へと共に導く家庭・保護者との連携 保護者や地域の思いや願いに応え、学校や地域への愛着を育む教育と体験活動
目 指 す 子 供 像	◎よく考える子 学ぶ意欲をもち、基礎的・基本的な学習内容を身に付け、社会の変化に対応していく子 ○思いやりのある子 自己肯定感をもち、互いに認め合い、励まし合う、心豊かでやさしい子 ○たくましい子 自ら身体を鍛え、自他の生命を尊び、健康で明るく元気な子
目 指 す 教 師 像	○専門職としての自覚をもち、謙虚に学び続ける教師 ○子供、保護者とよい関係を築き、教師仲間と助け合う教師 ○よいこと、正しいことを具体的にわかりやすく語り、自分の姿で表現する教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。	B	成果をあげている授業改善、学力向上の取り組みを今後も継続する。タブレット端末の効果的活用を一層推進し主体的対話的で深い学びと基礎基本の定着とを実現していく。	A	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。	B	学校生活において特別な支援が必要な児童に適切な支援が届くように校内特別支援委員会で情報共有し、計画的に検討・提案・実践・成果検証し、保護者とも連携していく。	B	A
	学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	A	今年度実施した出前授業を精選して引継ぎ新メニューと入替える。今後も地域や社会で活躍する大人から直接指導を受けたり仕事を見せて頂いたりして夢や希望の実現につなげる。	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	A	外部の研究発表会参加、校内研、区小研、年次研の授業公開、OJTとしての授業の相互参観を継続し、教員それぞれの専門性やよさを生かして指導力・授業力の向上を図る。	B	A

様式 4

	課題はありながらも学力向上にむけて様々な取組をおこなっていることがわかった。また、一人一台のタブレット端末の活用についても授業公開で様子を見ることができてよかった。来年度も今年度同様に公開授業の連絡を周知して欲しい。
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行っているか。	A	今後も「菊小のきまり」を児童と共に見直し、人権意識を高め、自分で考えて行動する児童を育成していく。児童に寄り添い、いじめ、不登校問題の予防、早期発見と解決を継続する。	A	A
	学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。	A	集団登校、朝のあいさつ指導、たてわり班活動等の、児童の主体的な特別活動、学校行事を通して、自己有用感や自己肯定感を高める。道徳教育、健康教育の工夫を継続する。	A	B
	学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	B	安全点検、安全指導、安全教育を徹底し児童の「自分の命は自分で守る」安全意識、状況判断力、実践的な対応力を養う。緊急対応マニュアルを見直し、全体共有を進めていく。	B	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し教育活動の点検や改善に役立っているか。	A	行事の感想や児童・保護者アンケートの意見を forms で集約し集計結果と併せて迅速に回覧、共有して対応・回答していく。年度途中にも修正変更や工夫改善に生かすよう努める。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	保護者からのアンケート結果に一問一答形式で回答していることはこれからも続けていって欲しい。挨拶や言葉遣いの習慣は学校だけで定着していくことは難しいので家庭と協力して習慣化できるとよい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。	A	学校経営方針を基に全教職員が主体的な学校運営に参加し共通行動をとれるようにする。新しい教育課題に対応した校内組織体制をさらに効果的に編成し働き方改革を進めていく。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。	A	学校生活での子供たちの観察、ノートやタブレットの記録、学力調査、アイチェック、アンケート等を活用して、適切な数値目標を設定して取組み達成状況を評価・分析する。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。	B	毎月の安全点検、年1回の学校施設点検、学校衛生点検を活用して必要な環境・設備を整える。効率的な予算執行、ICT活用、事務作業の削減をする。年3回の環境整理を進める。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	子供たちの観察だけでなく、タブレットやアンケート等を利用して子供たちの実態を把握していることが分かった。安全点検も定期的に行っていることが分かり安心していい。これからも安全第一で教育活動を行って欲しい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。	A	HP更新、学校配信システム、WEBアンケートなどをより効果的な方法へと改善を進めている。重複や齟齬をなくしお知らせの紙配布をさらに削減する。学校と家庭の双方にとって便利で負担感のない連携を適時適切にしていく。	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。	B	「学運協だより」を新しく発行して地域と保護者の架け橋としていく。地域行事やPTA行事に児童や保護者の意見を生かし、より魅力的で楽しい内容となるよう創意工夫していく。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	HP更新を積極的に行ってくれているので学校でどのようなことが行われているのかを知ることができて有り難い。これからは情報発信を積極的に行って欲しい。			

様式 4

2 令和4年度学校評価のまとめ

地域・保護者アンケートでは全体的に肯定的な意見が多かったものの、学力向上、情報発信、コロナ禍での対応、登下校の安全については心配する意見もいただいた。学力向上については担任や学年によって差がないように組織的に対応し、学校全体としての向上が見られるようにしていく。情報発信はHPの更新だけでなく各種お便りでも学校の活動の様子を保護者や地域に伝えていく。今後コロナ禍の規制も緩和していくと考えられるが、感染症対策を継続しながらもたくさんの地域の方や保護者の方に学校の教育活動を参観していただく機会を設定していく。登下校の安全対策については生活指導部を中心に集団登校だけではなく下校時の安全、放課後の過ごし方についての指導にも一層取り組んでいく。

児童アンケートは、概ね8割の児童が肯定的な意見であった。その中で、自ら進んで学習すること、目標に向かって頑張ること、についてはやや低い評価であった。来年度に向けてさらに主体的に学習に取り組むことができるように学力向上委員会を中心に対策を考えていく。

次年度に向けては「すべては菊小の児童のために」を合い言葉に、いつも児童のことを第一に考え、教職員一同心を合わせて教育活動を充実させていきたい。

以上の通り報告いたします。

墨田区立菊川小学校 校長 柿沼 広美

